

## イギリス夏期英語研修報告書(2019年8月17日から9月8日)

人文社会学部人間社会学科教育学教室 2年

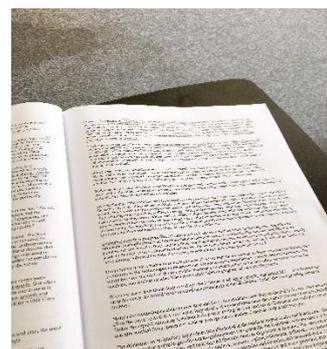
### 【研修先での学習】

学生は Intermediate Writing&Reading Course と Subject Course の2つから選ぶことができ、Intermediate Writing&Reading course では Writing や Reading、Speaking を中心に授業が行われ(日本での NSE のような授業)、Subject Course では自分の興味のある分野を4つのコースから選び学ぶことができる。私は、Subject Course の Environment, Development and Changing the world views のコースを選択した。

私の選択した授業では、講義を行う教授とその講義の Preview や Review などを担当する先生の2人で行われ、1コマ1時間ほどの授業が午前と午後にだいたい2つほどあった。授業内容は、環境問題と人間の「進化」について、歴史・哲学・経済学・社会学・地理などから知識を得つつ講義を聞いたり議論したりした。

講義もディスカッションも専門的なことが思ったより多いが、Preview で大まかな内容を確認したり Review で単語や内容を教えてもらえたりするため、ほとんど困ることはなかった。ただ、単語の知識量や講義を聞くことに慣れていないとディスカッションへの参加は難しいと思うため、事前の準備は必要であろう。しかし、自分の興味やレベルに合わせて先生と話したり学んだりできるため、どのレベルの生徒も満足できる、自由度の高い授業であると思う。授業の最後には個人で調べたことを10分ほどのプレゼンで発表した。

特に、このコースでは、1日 WetlandCenter や TateModern に行く StudyTrip が行われ、とても楽しかった。WetlandCenter では広い公園内を歩きながら、野鳥や生物の保護に関する様々な取り組みを見たり綺麗な自然を楽しんだりした(ほぼピクニック！)。TateModern では環境問題とアートを結び付けた作品展に行き、イギリスのモダンアートにたくさん触れることができた(ほぼピクニック！！)。



### 【現地の生活】

平日は授業と授業の復習や予習、ごはんを作ることで一日が終わった感じだったが、Intermediate Writing&Reading Course は早めに終わるので放課後遊ぶ時間が多めにとれるようだった。ただ、少ない時間ながらも、放課後に気になるお店に行ったり、博物館や図書館に行ったりして非常に充実させることができた。特に、イギリスは博物館や美術館に無料で入れるため、毎日違う場所に行きたくなって時間が足りなかった。更に大学は大英博物館のすぐそばなのでぜひ行ってほしい。自炊はしてもいいが、お金に余裕がある人は自炊にあまり

こだわらずに、いろんなところに行く時間をとったほうがいいのかもわからない。

寮は綺麗で、使いやすいように感じた。比較的一人でも動きやすい。スタッフも常駐していて、困ったら色々と聞くことができる。



### 【自由行動の過ごし方】

土日は一日使って色々な場所に行き、少し遠出をしたりツアーに参加したりミュージカルを見たりした。オックスフォードは街がとてもきれいで昔のヨーロッパの雰囲気を楽しめるのでお勧め。他にもストーンヘンジやコッツウォルズに行く人もいて、日本にいるうちに行きたい場所を考えておくと非常に楽しめると思う。

同じ首都大の人とは一緒に遊んだり、しゃべったりして楽しんだが、個室であるから割と積極的に顔を合わせる時間があるといいかもしれない。

### 【研修での自身の学び】

今回の研修で伸びたと思う能力は、リスニングと、大学での授業の受け方や考え方である。日本と違い非常に対話的な授業に感じたし、自分が考える内容そのものを評価されることがない。自分が学んだことにどう反応し、それをどう表現できているかが重要視されていた。(先生は基本的にすごく優しい!)リスニングは普通に授業を受けるだけでも変わると思う。

だが、スピーキングや会話力は意識的に行わないと伸びることは難しいと思う。特に Subject Course は日本人が多かったため、外国の人たちとの交流は、自分から動かないとなかなか体験できない。そのため、寮のコモンルームに行ってそこにいたカップルとゲームしたり、お店に行って積極的に人と会話したりする人もいた。ぜひ皆さんもカップルとゲームするぐらいの気合で交流を楽しんでほしい。もう一つのアドバイスのようなものがあるとすれば、人の使うフレーズを真似して使うようにしてみると、言葉に詰まりづらくなるし、どういった場面でどのようなテンションで英語を使うのかがわかり、面白いと思う。

また、個人的に、留学する理由には語学力向上だけでなく、日本とは違う空気感を感じてみたかったというものがある。適当な店員ややたらフレンドリーな店員がいたり、色んな人種の人だったり、基本的に信号は守らなかったり、街に座り込むホームレスが多かったり、電車が暑かったり、夕方になるとパブが毎日にぎわっていたり。日本にはわからない、日本の良いところ、悪い？ところが見えてきて、今後の自分の考え方や生き方に影響を及ぼすかもしれないと感じた。何が自分に影響を与えるかはわからないのでここまでしておくが、たった 3 週間でも、イギリスに触れ、色々見てみる価値は大いにあるのではないと思う。